

財務の概要

施設整備の主な整備状況

大学

教育研究用機器備品	331,128円	パソコン
管理用機器備品	2,572,000円	防犯監視カメラセット・冷蔵庫
図書	3,705,698円	
車両	1,290,800円	乗用車（取替）

大学院

教育研究用機器備品	550,800円	学生用パソコン
図書	146,275円	

短期大学部

建物	25,218,400円	1号館外壁工事・スロープ工事
図書	1,023,944円	

看護学部

教育研究用機器備品	486,000円	パソコン
図書	3,579,119円	

リハビリテーション学部

教育研究用機器備品	5,886,000円	学生用パソコン
同	3,329,226円	Pjモニターセット
同	1,238,640円	椅子机・パソコン・冷蔵庫
図書	4,132,202円	

専門学校

建物	550,800円	職員室壁工事
管理用機器備品	626,400円	電話設備
車輛	1,290,800円	乗用車（取替）
図書	16,308円	

幼稚園

教育研究用機器備品	999,324円	パソコン・印刷機
管理用機器備品	1,516,320円	非常電話設備・AED
図書	1,395円	

法人

土地	96,798,522円	新学部予定地
建物	3,240,000円	研修所設計料
構築物	540,000円	植栽物
管理用機器備品	3,075,472円	家具一式・置時計
建設仮勘定	3,000,000円	

公認会計士と監事の監査報告並びに・財務計算の資金収支計算書と経年推移・活動区分資金収支計算書・事業活動収支計算書と経年推移・貸借対照表と経年推移・事業活動収支関係比率経年推移・貸借対照表関係比率経年推移は別掲のとおりである。また平成30年度の財務概要としての施設整備状況は前記のとおりである。特に今年度における学生学習環境改善としては安全性を重視し、社会福祉学部・短期大学の外壁工事並びに防犯監視設備を行った。リハビリテーション学部においては今年度も最新の教育研究用機器を配備し、学生用パソコンも最新の物に入れ替えを実施した。各学部・部門においては本年度も図書蔵書の常時見直しを行い新図書の整備を継続している。学生定員確保においては、短期大学・専門学校・幼稚園は引き続き社会的現状から難しい運営が続いているがリハビリテーション学部・看護学部はともに入学定員・収容定員を堅調に充足しているので今後においても学生確保は十分に見込まれる。また、学生生徒等納付金収入は前期と比較し1.2%程度の減額の決算額であるが次年度は上回る事ができる見込みである。経常経費依存率は数年平均的にほぼ90%台で推移し、収支比率も100%前後で推移しているので学生生徒に対する教育的還元は収支バランスを維持しながら充実向上が図られていると思われる。今年度も新学部設置計画を念頭に施設整備に投入させたことから繰越収支差額は若干の減額ではあるが施設拡充引当金は着実に計上できており将来構想に満たされている。今後も資金的には当分外部借入金等に頼ることなく自己資金で資金計画を組み立て健全な財政運営を持続していく方針である。さらに次年度においても財務状況は良好に維持できるよう努力しなければならないところである。そして今後も大学法人としての教育研究目的を順当に達成するため必要な財政基盤をしっかりと確保し、継続的に収支バランスのとれた運営を目指して行く方針である。

財務運営の状況として5ヶ年経年推移を表・棒グラフにして別掲しているが、今年度より事業活動収支計算書関係・貸借対照表関係の財務比率をより分かり易くするため各区分比率の意味を掲載した。